



KAWASAKI CITY

川崎市立 井田病院



Kawasaki Municipal Ida Hospital

基本理念

「川崎市立井田病院は、自治体病院として、市民に信頼され、市民が安心してかかれる病院づくりを目指します。」

診療方針

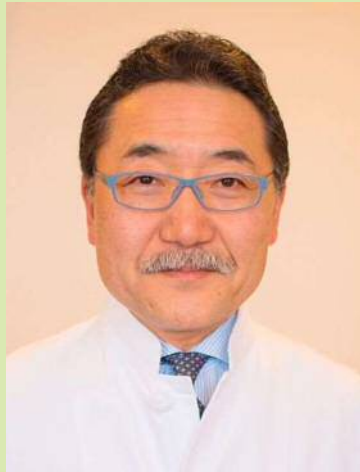
- 1 温かい心、やさしい手、確かな技術を提供します。
- 2 患者さん中心のチーム医療をすすめます。



手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」(平成28年8月導入)



- 地域がん診療連携拠点病院
- 病院機能評価認定病院
- 臨床研修指定病院
- 神奈川県災害協力病院



川崎市立井田病院
病院長 中島 洋介

川崎市立井田病院は昭和24年に開設、平成27年に現在の新棟が開院、令和元年の開設70周年を経て現在に至ります。

川崎市の中央部に位置する当院は、市内で唯一の結核病床を有するとともに、地域がん診療連携拠点病院として、予防から診断、治療、緩和ケア、在宅医療に至る切れ目のないがん診療に力を入れるなど、特色ある医療を展開する中核病院です。2次救急医療への取組強化、手術支援ロボットほか先進医療機器の導入、地域包括ケアシステム構築に向けた機能の充実として回復期機能を有する地域包括ケア病棟の活用など、多様な医療ニーズに対応し、地域の皆様が安心して暮らせるよう診療機能の充実に努めております。

また、当院は神奈川県災害協力病院に指定され、令和元年の台風19号の際には、高台に立地する水害に強い地の利を生かした災害医療機能を発揮しました。そのほか、臨床研修指定病院として研修医を受け入れるとともに、認定看護師の資格取得を積極的に支援するなど、教育環境を整備して優れた医療人材を育成し、地域医療水準の向上にも寄与しております。

令和2年は、新型コロナウイルス感染症との闘いに終始しましたが、当院はクルーズ船の患者さん受入れ以来、神奈川モデルの重点医療機関として多くのコロナ陽性患者さんを受入れつつ、一般診療を続けてまいりました。令和3年はワクチン接種が開始され、一日も早くコロナが収束することが望まれます。当院は地域の医療機関と連携して、地域全体で市民の皆様の健康を守ってまいります。引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

病院見取図



病院概要

病床数

	病床数	
一般	312床	※地域包括ケア病床 45床を含む
HCU・CCU	8床	
結核	40床	
緩和ケア	23床	
計	383床	

診療科目

- 内科
- 腫瘍内科
- 人工透析内科
- 心臓血管外科
- 形成外科
- 泌尿器科
- リハビリテーション科
- 病理診断科
- 歯科口腔外科
- 呼吸器内科
- 糖尿病内科
- 肝臓内科
- 消化器外科
- 精神科
- 婦人科
- 救急科
- 循環器内科
- 腎臓内科
- 緩和ケア内科
- 消化器内科
- アレルギー科
- 眼科
- 放射線診断科
- 麻酔科(中塚逸史)
- 消化器内科
- 神経内科
- 外科
- 整形外科
- リウマチ科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線治療科
- 血液内科
- 感染症内科
- 呼吸器外科
- 脳神経外科
- 皮膚科
- 歯科

建設概要

本館	鉄筋コンクリート造	地下1階～地上7階建
ケアセンター	鉄筋コンクリート造	地下1階～地上2階建
保育所	鉄筋コンクリート造	地上1階建
立体駐車場	鉄骨造	地上2階建

● 敷地面積 36,702 m ²	● 建築面積 10,745 m ²	● 延床面積 39,480 m ²
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------



東側外観



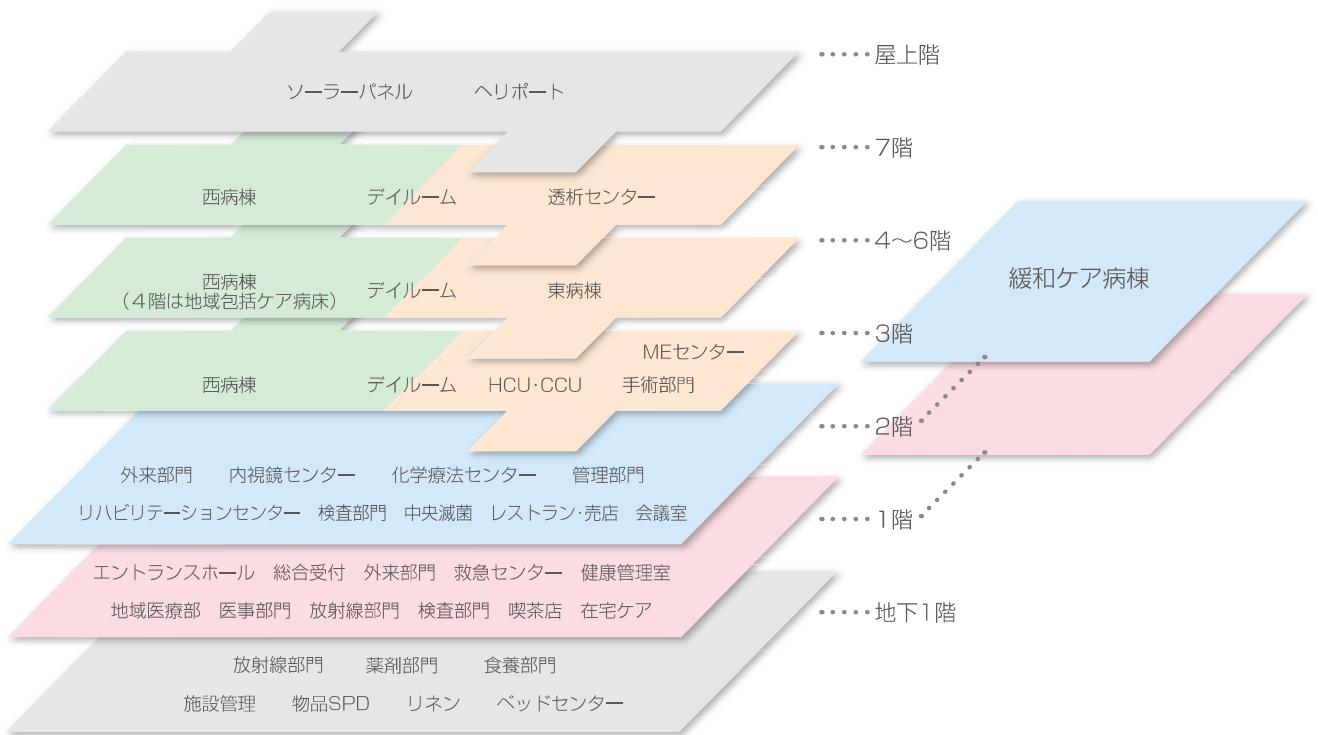
別館（緩和ケア病棟）



ハーブガーデン



各階構成図



ヘリポート



ソーラーパネル



免震構造

5つの医療機能の充実

1 がん等の高度・特殊な医療

地域がん診療連携拠点病院として高度専門医療を効率的・効果的に提供していくため、臓器別センター制を採用し、複数の診療科間のチーム医療体制の充実を図っています。また在宅部門や緩和ケア病棟と連携し、一貫したがん医療を提供します。

●消化器センター

食道、胃、大腸、肝臓などの悪性腫瘍および胃潰瘍などの消化器疾患に対し、消化器内科と消化器外科が共同して高水準かつ一貫した医療を提供します。

●呼吸器センター

肺がん、肺結核、結核関連疾患(結核後遺症、肺気腫、肺真菌症、非結核性抗酸菌症)などに対し、呼吸器内科と呼吸器外科が共同して質の高い医療を提供します。

●腎・泌尿器センター

さまざまな腎臓内科疾患、泌尿器科疾患に対し、腎臓内科と泌尿器科が共同で、より多面的な質の高い医療を提供します。

●化学療法センター

化学療法センターは、20床で運用し、専任の医師、看護師、薬剤師が、快適・安全・安心な環境の中で患者さんにがん化学療法を提供します。



●在宅緩和ケアセンター

外来ケア、在宅緩和ケア(往診、訪問看護、ケアマネジメント等)、緩和ケア病棟など一貫したサポート体制で専門的な緩和ケアを提供するとともに、がんサポートチームが、がんの告知の段階から身体的・精神的支援に入り、がん治療中の全人的苦痛の緩和を行っています。また、「がん相談支援センター」や「がん相談支援室」、「がんサロン」で患者さんやご家族からの相談に応じています。緩和ケア研修会の開催など緩和ケアの普及啓発にも努めています。



緩和ケア病棟



がんサロン「ほっとサロンいだ」

2 成人疾患医療

● 糖尿病、高血圧、高脂血症、脳および心血管疾患など広範囲にわたる成人疾患に対応するとともに、リウマチ科と整形外科が密接に連携した「リウマチ膠原病・痛風センター」を組織して、関節リウマチを始めとするリウマチ性疾患の治療にあたっています。

また、高齢者の病状評価と在宅ケア・施設ケアへの移行を支援するとともに、緩和ケア病棟も設置しています。



糖尿病治療にあたる多職種による
チームの合同カンファレンス

3 二次救急医療

● 救急専用エリアに、救急センターを整備しました。

救急センターは、救急車の専用進入路や、搬送時に濡れない屋根が整備され、入口は診療スペースと直結しています。診療スペースは、重症処置室1室、中等症対応処置ベッド2床、診察室3室と観察ベッド6床があり、検体等は、自動搬送機で検査室へ送られます。また、隣接エリアに放射線部門の単純撮影室とCT検査室（64列）を、放射線部門の隣に生理検査部門を配置し、1階の集中したエリアで検査を完結させています。

さらに、救急センターの上方・3階に救急の後方病床を設け、一体となった運用をしています。

「市民ニーズに応える救急！」を基本コンセプトに医療スタッフの総力を挙げて成人疾患の二次救急医療の充実・強化を図ります。



中等症対応スペース



救急後方病床

4 結核医療

● 川崎市内で唯一の結核専門病棟があります。

透析やがんなどの合併症を有する患者さんにも対応可能です。

なお、2021年4月現在は一時的に新型コロナウイルス感染症病棟として運用しています。



結核病棟

5 地域医療連携

地域医療機関との円滑な医療連携を図り、質の高い安全で安心な医療サービスを地域住民に提供します。

- 地域の医療機関等から紹介された患者の外来診療・検査(上部消化管内視鏡・CT・MR・シンチ等)の予約受付、当院への転院調整、企業等の健康診断二次精査を行っています。なお川崎病院でのPET-CT検査も可能です。
- 特定健診・がん検診などの公的検診や、人間ドックなどの自費健診を行っています。
- 看護師、ケースワーカーによる入院患者の退院調整を行い、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、他院の退院調整看護師等と連携し入院患者のスムーズな退院を手助けします。
- ケースワーカーによる患者家族への医療相談を行います。
- がん相談員によるがんに関する相談やセカンドオピニオンの受付を行います。
- 地域の医療従事者(医師、看護師等)が利用できる医療連携室があります。※事前登録制となります。
- 地域の医療機関へ当院の外来診療表や広報紙を送付します。
- 地域の医療従事者との症例検討会・カンサーボードを行っています。また、医療従事者に対する緩和ケア講習会・研修会や放射線治療・化学療法に関する研修会を開催しています。
- 地域住民向けのがんや医療に関する市民公開講座を開催しています。



地域の医療機関との症例検討会風景



広報紙「地域医療部だより」



様々な職種で構成されたチームで連携に取り組んでいます。



森の病院ガーデンホスピタル

エントランスホール

1・2階吹き抜けで、自然光を利用した全面ガラス張り。中央にシンボルトリーを設置し、木のぬくもりを感じさせる暖かでゆったりとしたエントランスホールとなっています。



エントランス掲示板



連携登録医一覧



来院者を迎えるコンシェルジュ



総合受付カウンター



外来通路



医療安全・相談コーナー



再来受付機



自動精算機

外 来

やすらぎと良質な医療の提供

外来待合には診察順を知らせる順番検索機やモニターを設置。また診察室は、患者さんのプライバシーに配慮した個室空間となっており、電子カルテ導入により、鮮明な検査画像を使った説明などを患者さんへ迅速に提供できるようになりました。会計データも瞬時に送信され、患者さんの利便性の向上を図っています。



◀ 順番検索機



外来待合

診察順番モニター▶



体外衝撃波結石破碎装置
1990年に川崎市内で第1号を導入して以来、当院では3台目



耳鼻咽喉科外来
(嚥下内視鏡検査)

● 各種専門外来を設け、患者さんがかかりやすい外来を目指しています。(ストマ外来・緩和ケア外来・尿失禁外来・在宅酸素療法外来など)



尿失禁外来 (尿もれ予防の体操指導)

明るく眺望のよい入院フロア

病棟

西病棟は春から夏をイメージした新緑の緑、東病棟は秋から冬をイメージした橙をカラーコンセプトに、各階ラウンジには病院敷地内に自生する木々のデザインを取り入れ、日々成長する樹木の力強さや包み込む優しさが感じられる入院フロアとなっています。

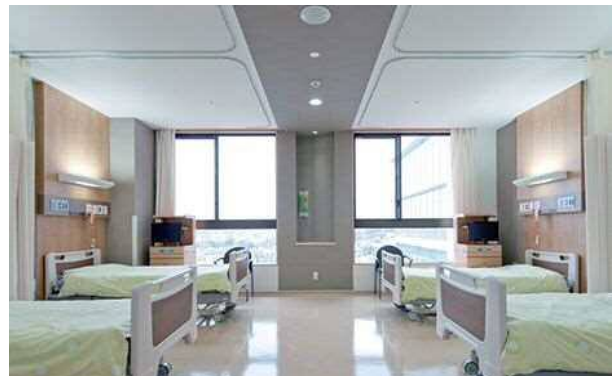
東西2つの病棟はダブル十字型に配置。患者さんが過ごす環境は、個室と4床室を基本に固有空間を確保し、大きく作られた窓から自然の光がさしこむ暖かな病室となっています。

病棟構成

西			東
	混合	7階	透析センター
	結核	6階	内科系
	外科系	5階	内科系
	地域包括ケア	4階	外科系
	救急後方・外科系一部	3階	HCU・CCU



ラウンジからは横浜方面や富士山が望めます

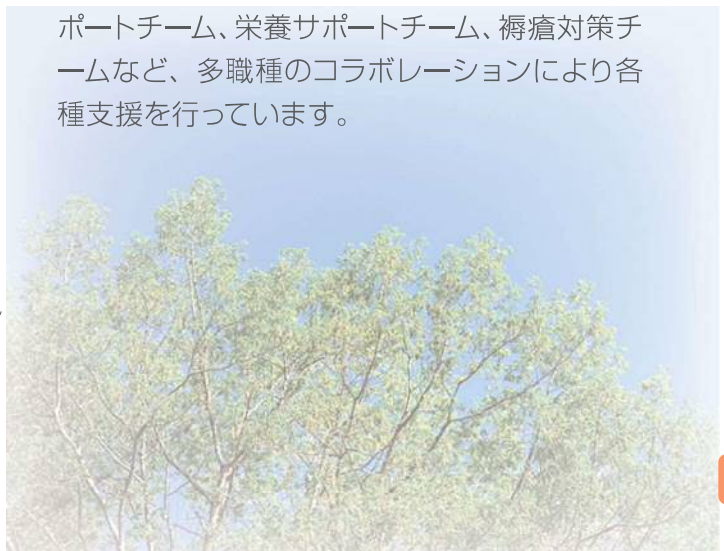


病室には洗面台、ロッカー、テレビ、冷蔵庫、セーフティボックスを用意



スタッフステーション

井田病院ではチーム医療を実施しています。がんサポートチーム、感染制御チーム、糖尿病サポートチーム、栄養サポートチーム、褥瘡対策チームなど、多職種のコラボレーションにより各種支援を行っています。



質の高い医療技術を提供

医療技術 部門

手術室

手術室6室を備え、心臓カテーテル検査や血管撮影、血管内治療を行うIVR室があります。また、年間約2000件の手術が行われ、平成28年から手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入しました。



HCU・CCU

手術室やIVR室と直結し、手術や検査後のリスクを低減。生体監視モニターで患者さんの全身管理に対応しています。



透析センター

ベッド数21床で、血液透析、腹膜透析外来を行っています。個室を3床設け、結核などの感染症や重症患者に対応できる設備を整えています。センターは7階東に位置し、素晴らしい景観が望めます。



内視鏡センター

検査目的の多様化に合わせ、消化管のスクリーニングをはじめ、拡大内視鏡やNBI（狭帯域光観察）等の精密検査、早期がんの治療（ESD）や止血術等の処置を行っています。また、苦痛が少ない経鼻内視鏡検査も取り入れています。



各部門が連携し診療をサポート

医療支援 部門

MEセンター

主に診療で扱う医療機器の操作及び保守管理を行っています。また、院内における医療機器の一括管理を行い、安全で質の高い医療機器を供給しています。



放射線診断科・放射線治療科

一般撮影、透視・造影検査、マンモグラフィ、骨密度測定、パノラマ撮影、CT、MRI、アイソトープ(核医学)検査などの画像情報を提供しています。デジタル撮影システムを導入し、モニタ診断を行っています。

また、放射線治療計画専用の位置決めCTと放射線治療装置(リニアック)を備え、がん治療や緩和治療を行っています。手術室内にあるIVR室では、血管造影による画像診断だけでなく、血管内治療(IVR)も行っています。



CT室



アイソトープ(核医学)検査室



放射線治療室(リニアック)



IVR室

検査科

生理検査(心電図、呼吸機能検査、エコー検査など)、検体検査(血液・尿・便・細菌・寄生虫検査など)、病理検査(摘出臓器などから病気を診断)などを行い、正確・迅速な臨床支援を目指しています。



生理検査室



検体検査



病理診断

多面的な患者サポート

リハビリテーションセンター

400㎡を有する広くて明るいリハビリテーションセンターでは、入院中の患者さんを中心に「理学療法」「作業療法」「言語聴覚療法」「心理療法」を行っています。屋外テラスでは緑と光と風に癒されながら歩行や車椅子の訓練ができます。



機能訓練室



屋外テラス



日常生活動作訓練用の置スペース

薬剤部

処方せんに基づく調剤や、注射薬の混合、服薬指導、持参薬の管理などの他、医師や看護師などと協働して治療に参加(チーム医療)しています。

また、電子カルテと連動した散薬監査システムや自動分包機、全自動注射薬払出装置、持参薬管理システムなど、最新鋭の機器を導入しています。



調剤室



全自動注射薬払出装置

食養科

治療の一環として、一般食や特別食(エネルギーやたんぱく質などを調整したもの)を1日約700食、温冷配膳車で提供しています。医師・薬剤師・看護師なども含めた栄養サポートチーム(NST)により、症例や疾患に応じた適切な栄養管理を実施しています。また、個別栄養相談や糖尿病教室の開催なども行っています。



常食のお食事例



栄養指導風景

その他設備



喫茶



売店



レストラン

ボランティア

「市民とともに歩む病院」として、地域の方々にボランティアとして多くの支援をいただいています。介護、案内、図書、園芸、イベント、展示など院内で幅広く活躍しています。



図書コーナー



中庭の手入れをする園芸ボランティア



院内コンサート

地域医療を担う医師の育成

初期臨床研修

自治体病院である井田病院は、地域医療を担う若手医師の育成に努めており、国から基幹型臨床研修病院の指定を受けています。

初期臨床研修の修了後は、専門医取得のため、当院で後期研修を行うことができます。



若い力が病院に活気を与えています

研修環境

初期研修医の座席は専用室内に設けられ、研修に集中できる環境が整っています。また、少人数型カンファレンス機能と医学教育用シミュレーターを備えた医師看護師研修室や、インターネット用パソコンや国内外の医学図書と雑誌 4,000 冊以上、文献データベースを有する図書室は、24 時間いつでも利用が可能であり、知識や技能習得のためのサポート体制が充実しています。



専用の研修医室



24時間使用できる医師看護師研修室



指導医による熱心な指導

● 徒歩 または タクシーでご来院の方

東急東横線・目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン日吉駅西口より、徒歩約15分、タクシー 約5分

● バスでご来院の方 東急バスは「井田病院正門前」、市バスは「井田病院」バス停下車

路線及び所要時間

東急東横線・目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅	東急バス(日23) さくらが丘行き	約5分
東急東横線・目黒線 元住吉駅	市バス(川166)井田病院行き	約11分
JR南武線 武蔵新城駅南口	市バス(川168)井田病院行き	約17分
JR横須賀線 武蔵小杉駅	市バス(杉01、02)井田病院行き	約23分
東急東横線・目黒線・JR南武線 武蔵小杉駅東口	市バス(杉01、02)井田病院行き	約17分
東急田園都市線 宮前平駅	市バス(城11)井田病院行き	約25分
JR南武線・東海道線・京浜東北線 川崎駅西口	市バス(川166)井田病院行き	約43分

※市営バスは「井田営業所前」から「井田病院」行きバスに乗り継ぐことができます。
この場合は、一乗車分の料金を乗車することができます。乗車時に、乗り継ぎ制度を利用することを運転手にお伝えください。



地域がん診療連携拠点病院・臨床研修指定病院



川崎市立 井田病院

Kawasaki Municipal Ida Hospital

2021年4月発行

〒211-0035 川崎市中原区井田 2-27-1

TEL 044-766-2188(代表) FAX 044-788-0231

井田病院

検索

ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/33/cmsfiles/contents/0000037/37855/ida/>